

株主通信 第20期 報告書

2018年10月1日から2019年9月30日まで

株主の皆様へ

代表取締役社長執行役員

蓮野 幸明



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第20期の株主通信をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

既にご承知のとおり第20期（2019年9月期）の決算は黒字と増配で終わることができました。増配を判断した純利益増加は税効果会計によるものですが、2013年9月期に全ての繰延税金資産を取崩して以降、実に6年を経過して再計上に漕ぎ着けたことには社長として一入のものがああり、また一歩「普通の会社」に近付くことができたという想いでおります。

さて、今年の6月に中期経営計画を全面改定いたしました。本紙の中間にもその内容に少し触れておりますが、是非とも当社ホームページのIR情報より「中期経営計画2019」の詳細をご確認いただければ幸いです。

また、デジタルマーケティングを今春より開始しました。不特定の顧客に対しメールなどで直接アプローチするマーケティング手法は、当社グループのようなBtoB（企業間取引）型で、ましてや高温高压弁という非常にニッチな市場で事業を行っている企業には馴染まないものと考えてきましたが、保有する技術や設備といった訴求点と顧客との接点を明確にすることで、新市場の開拓につなげることができるのではないかとこの挑戦です。

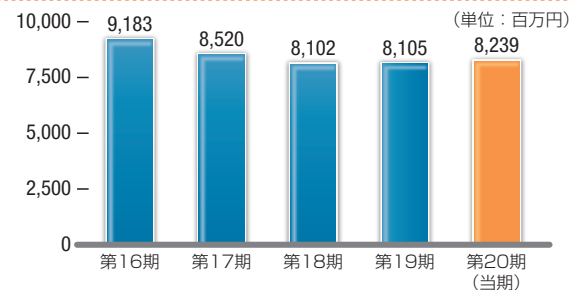
これをひとつの好例に、ITを活用した事業変革へ積極的に取り組んでいます。顧客の要求に応じ一品一様のバルブを労働集約的に製造する当社でもITを活用する余地はいくらでもあります。要はいかに柔軟な発想と視点を変えながら物事を見ることができると考えます。幸いに黒字を継続することで投資原資も確保できつつあります。株主還元をしっかりと果たしながら成長のための投資も積極的に実施してまいります。

株主の皆様のご関心も非常に高いであろう株式会社キッツとの資本業務提携ですが、多方面で着実に仕掛けを進めてまいります。具体的な成果をご報告するにはしばらくの時間が必要ですが、日本メーカーの連携で世界市場にという当初のコンセプトには僅かのブレも迷いもありません。今後をぜひご期待ください。株主の皆様におかれましては何卒、引き続き変わらぬご支援を賜りたく心よりお願い申し上げます。

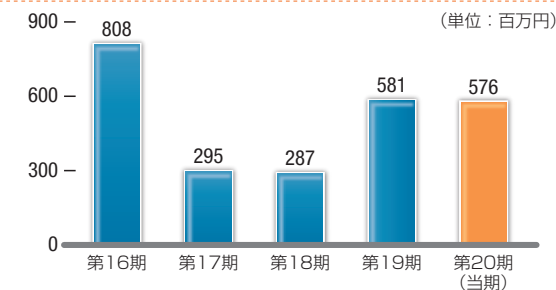
2019年12月

財務ハイライト（連結）

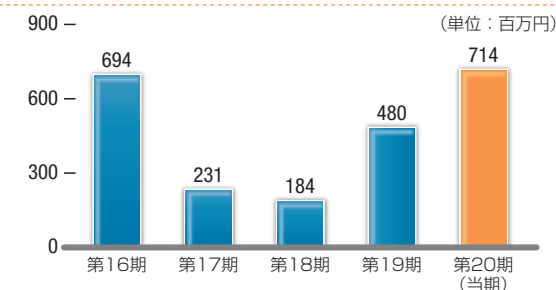
売上高 **82億 39百万円** <前期比> **1.7%増**



経常利益 **5億 76百万円** <前期比> **0.8%減**



親会社株主に帰属する当期純利益 **7億 14百万円** <前期比> **48.8%増**



※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

配当について

第20期の配当につきましては、1株当たり年間40円(期末25円)とさせていただきます。

1株当たり
25円

詳細な財務情報は、当社ホームページをご覧ください▶▶▶

<https://www.toavalve.co.jp/>

株主総会決議ご通知に関するお知らせ

第20回定時株主総会の決議結果につきましては、当社ホームページ (<https://www.toavalve.co.jp/>) での開示をもちまして決議ご通知に代えさせていただきますので、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

株主メモ

事業年度 10月1日から翌年9月30日まで
期末配当金 9月30日
受領株主確定日
中間配当金 3月31日
受領株主確定日
定時株主総会 毎年12月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせ下さい。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行株式会社）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行株式会社）にお問い合わせ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社全国本支店でお支払いいたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第二部
公告の方法 電子公告により行います。

公告掲載URL <https://www.toavalve.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)

～創業100周年を超え「目指す将来像」の実現に向けて～ 「中期経営計画2019」を策定



（概要）

「中期経営計画2019」では成長戦略を『既存3事業の深化』に軸を置きつつ『新領域への挑戦』で目指す将来像を示し、その成長を支えるため『経営基盤の構造改革』をもうひとつの重要戦略としました。国内高温高圧弁市場は既に飽和状態にあって、「エリア」と「商品」でマーケットの拡大を目指す以外に成長戦略を描くことはできません。それをシンプルな形で明確に表現したものです。

（目指す姿）

目指す将来像には『高品質弁と設備保全で、世界エネルギーインフラの安全安定運転に貢献するグローバルニッチトップへ！』を据えました。

既存の製品・サービスだけでは、成熟し飽和した市場で拡大を図ることは困難です。しかし一方、運転効率向上と環境負荷低減のため更なる高温・高圧化を目指す火力発電所、絶対に安全で安定した運転を実現する原子力発電所といったニーズは近い将来において大きく変わることはないと考えられ、このニッチなマーケットにこそ勝機があると考えています。

（既存3事業の深化）

当社は100年に及ぶ歴史の中で数多の高温高圧弁のノウハウを蓄積してきました。それはまさに世界レベル、世界に伍することのできる技術です。これからも奮ることなく、さらに技術を深化させ電力インフラの安定・安全運転を通じ社会に貢献していきたいとの強い想いを『既存3事業の深化』に込めました。

（新領域への挑戦）

キーワードは『世界』、『廃炉』、『IT』です。『世界』戦略のマーケットはアジア、パートナーは株式会社キッツ。原発『廃炉』は日本の原発黎明期から原発に関わってきた事業者としての使命。まずは福井県に本社を置く新会社を設立しました。『IT』は当社が持つ全てのリソースにITを掛け合わせることで新たな何が生まれるのかを地道に探ってまいります。



（経営基盤の構造改革）

製造能力とメンテナンス能力、そしてそれらを高い品質で実現・維持する人のチカラを結集した総力戦で中期経営計画達成に取り組む決意、それが『人のチカラ、つくるチカラ、まもるチカラの結集』です。

人に纏わる課題は山積で当社とて例外ではありません。全ての人が持てる限界の力を出すことができる施策を間断なく打ち続け、パフォーマンスを最大化させるための構造改革を進めてまいります。

（創業100周年に向けて）

2022年に当社は創業100周年を迎えます。これまで決して平坦な道程ではありませんでした。きっとこれからもそうだと思います。しかし先達が数々の苦難を乗り越えて来ましたが、今の時代を生きる私達が今やれることに全力で取り組む、そして次の100年につなげようとの想いを込めた「中期経営計画2019」です。是非とも応援をよろしくお願いいたします。

NEWS ニュース

関西機械要素技術展に当社ブースを初出展

2019年10月2日から4日まで、インテックス大阪で開催されました「第22回関西機械要素技術展」に初めてブースを出展いたしました。

機械要素技術展とは、機械部品や加工技術、計測機、センサなどを集めた専門展で、今年は西日本最大1,350社が出展し、製造業に携わる各部門の方々が来場されました。

当社のブースには、2019年4月より当社ホームページにリリースしましたソリューションサイトを中心に展示し、ご来場いただきました多くの方々当社の技術力をPRすることができました。



会社の概況 (2019年9月30日現在)

商号	東亜バルブエンジニアリング株式会社		
※なお、当社は、2019年12月24日の株主総会において、定款一部変更議案を上程しており、ご承認頂きました。これにより、2020年10月1日より『株式会社TVE』と商号変更をする予定です。			
英文	Toa Valve Engineering Inc.		
証券コード	6466		
所在地	〒660-0054 兵庫県尼崎市西立花町五丁目12番1号		
設立日	2000年3月16日		
資本金	17億3,955万9,810円		
事業内容	各種バルブ、鋳鋼製品の製造販売、 各種バルブのメンテナンス業務、除染及び廃炉関係		
従業員	301名（連結314名）		

■役員 (2019年12月24日現在)

監査等委員以外の取締役		監査等委員である取締役	
代表取締役	笹野 幸明	取締役	平野 重充
取締役	有松 清高	取締役(社外)	浜本 光浩
取締役	飯田 明彦	取締役(社外)	生川友佳子
取締役	角谷 正昭		
取締役	三宅 利幸		
取締役(社外)	横山 幸則		

株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	10,040,000株
発行済株式の総数	2,678,600株
株主数	1,560名

■大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社キッツ	302,200	13.23
西華産業株式会社	203,200	8.90
INTERACTIVE BROKERS LLC	109,042	4.77
TOA取引先持株会	96,200	4.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	81,100	3.55
株式会社光通信	78,100	3.42
NPBN-SHOKORO LIMITED	76,200	3.34
株式会社三菱UFJ銀行	68,000	2.98
前島崇志	59,000	2.58
トウアバルブグループ従業員持株会	42,842	1.88

※当社は自己株式394,677株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。